

任意後見契約公正証書

委任者沢口研二（以下「研二さん」という。）と受任者沢口百恵（以下「百恵さん」という。）の囑託により、作成する。

第1条（契約の趣旨）

研二さんは、令和4年8月26日、任意後見契約に関する法律に基づき、同法第4条第1項所定の要件に該当する状況（精神上的の障害により事理を弁識する能力が不十分な状況）における研二さんの生活、療養看護（以下「身上保護事務」という。）と、財産の管理に関する事務（以下「財産管理事務」という。）を百恵さんに委任し、百恵さんは、これを受任する。

第2条（契約の発効）

- 1 本契約は、百恵さんが家庭裁判所に対し任意後見監督人の選任を請求し、任意後見監督人が選任された時からその効力を生ずる。
- 2 百恵さんは、研二さんの判断能力が不十分な状態となり、医師により後見または保佐相当の診断があったときは、研二さんの同意を得て、任意後見監督人選任の申立てを行わなければならない。ただし、

研二さんが意思を表示できないときは、同意を要しない。なお、医師により研二さんの判断能力が補助相当の診断がされ、百恵さんが任意後見契約による後見事務を行うことを相当と認めたときは、百恵さんは、研二さんの同意を得て、任意後見監督人選任の申立てを行わなければならない。

- 3 本契約の効力発生後における研二さんと百恵さんとの間の法律関係は、任意後見契約に関する法律及び本任意後見契約に定めるもののほか、民法の規定に従う。

第3条（後見事務の範囲）

- 1 研二さんは、百恵さんに別紙1「代理権目録（任意後見契約）」記載の後見事務（以下「本件後見事務」という。）を委任し、その事務処理の代理権を与える。

第4条（身上配慮の責務）

百恵さんは、本件後見事務を処理するにあたり、研二さんの意思を尊重し、かつ、研二さんの身上に配慮し、その事務の処理のため、適宜研二さんと面談し、ヘルパーその他日常生活援助者から研二さんの生活状況につき報告を求め、主治医その他医療関

係者から研二さんの心身の状態につき説明を受けるなど、研二さんの生活状況及び健康状態の把握に努める。

第5条（証書等の保管等）

百恵さんは、研二さんから本件後見事務処理のために別紙1 代理権目録8 記載の証書等及びこれらに準ずるものの引渡しを受けたときは、研二さんに対しその明細及び保管方法を記載した預り証を交付する。

- 2 百恵さんは、本契約の効力発生後、研二さん以外の者が第1項の証書等を所持しているときは、その者からこれらの証書等の引渡しを受けて、自らこれらを保管することができる。
- 3 百恵さんは、引渡しを受けた第1項の証書等を保管し、これらを本件後見事務の処理に使用する。
- 4 百恵さんは、本件後見事務の処理に必要な範囲で、研二さん宛ての郵便物その他の通信を受領し、本件後見事務に関連すると思料されるものを開封することができる。

第6条（費用の負担）

百恵さんが本件後見事務を処理するために必要な費用は、研二さんの負担とし、百恵さんは、その管理する研二さんの財産からこれを支出することができる。

第7条（報酬）

- 1 百恵さんの本件後見事務報酬は月額2万円（消費税別）とする。
- 2 本件後見事務の報酬が、次の事由により不相当となった場合には、研二さん又は百恵さんは、任意後見監督人と協議の上、報酬を定め、また、定めた報酬を変更することができる。
 - (1) 研二さんの生活状況又は健康状態の変化
 - (2) 経済情勢の変動
 - (3) その他第1項で定めた報酬額を不相当とする特段の事情の発生
- 3 前項の場合において、研二さんがその意思を表示することができない状況にあるときは、百恵さんは、任意後見監督人との間の合意により報酬を定め、また、定めた報酬を変更することができる。
- 4 前2項の報酬支払契約又は変更契約は、公正証書

によって行う。

第8条（報告）

1 百恵さんは、任意後見監督人に対し、6か月ごとに、本件後見事務に関する次の事項について書面で報告する。

- (1) 百恵さんの管理する研二さんの財産管理状況
- (2) 研二さんの生活又は療養看護につき行った措置
- (3) 費用の支出及び使用状況
- (4) 報酬の収受

2 前項の規定にかかわらず、百恵さんは、任意後見監督人の請求があるときは、速やかにその求められた事項につき報告する。

第9条（書類の作成）

百恵さんは、本件後見事務について、下記の書類を作成する。

- (1) 任意後見監督人選任時の財産目録
- (2) 本件後見事務の現金預貯金出納帳等
- (3) 本件後見事務の業務日誌
- (4) 契約終了時の事務引継書類と財産目録

第10条（契約の解除）

- 1 本契約は、任意後見監督人が選任されるまでの間、公証人の認証を受けた書面によって解除することができる。ただし、百恵さんが解除するときは、正当の事由があることを要する。
- 2 任意後見監督人が選任された後は、正当な事由がある場合に限り、家庭裁判所の許可を得て本契約を解除することができる。
- 3 契約を解除した当事者は、直ちに任意後見契約の終了登記申請を行う。

第 11 条（契約の終了）

- 1 本契約は、次の場合に終了する。
 - (1) 研二さん、百恵さんのいずれかが死亡したとき
 - (2) 研二さん又は百恵さんが破産手続開始決定を受けたとき
 - (3) 研二さん又は百恵さんが後見、保佐又は補助開始の審判を受けたとき

第 12 条（後見登記）

- 1 百恵さんは、本契約に関する登記事項について変更が生じたことを知ったときは、嘱託登記を除いて、変更登記を申請しなければならない。

- 2 百恵さんは、本契約を終了したときは、嘱託登記を除いて、終了登記を申請しなければならない。

第 13 条（終了時の財産の引継ぎ）

- 1 本契約が研二さんの死亡以外の事由で終了したときは、百恵さんは、研二さんや研二さんの法定代理人に、管理する財産や証書等を引き渡す。
- 2 本契約が研二さんの死亡により終了したときは、百恵さんは、研二さんの相続人または遺言執行者等に、管理する財産や証書等を引き渡す。

第 14 条（守秘義務）

百恵さんは、本契約で知り得た研二さんの秘密を、正当な理由なく第三者に漏らしてはならない。

付言事項

私の現在の希望を以下に述べます。関係各所の皆様には、私の希望を尊重してくださるようお願い申し上げます。

1. 財産の管理・処分・変更等に関する事項

- (1) 私が施設に入所するなどして、自宅に戻ることがなくなったときは、自宅は売却を希望します。売却の時期や代金は、百恵さんに一任します。

本 旨 外 要 件

本籍 福岡市博多区博多駅中央街 1 番

住所 福岡市博多区博多駅中央街 1 番 1 号

職業 歌手

委任者

沢 口 研 二

昭和 1 8 年 6 月 2 5 日生

上記沢口研二は、印鑑登録証明書の提出により、人
違いでないことを証明させた。

住所 長崎市茂里町 2 番 3 8 号

職業 公務員

受任者

沢 口 百 恵

生年月日

昭和 4 6 年 1 月 1 7 日

上記沢口百恵は、印鑑登録証明書を提出させて、人
違いでないことを証明させた。

別紙 1

代理権目録

- 1 委任者に帰属する全財産の管理、保存、処分、変更に関する事項
- 2 委任者に帰属する全預貯金の管理、振込依頼、払戻し、口座の変更、解約に関する事項
- 3 新たな預貯金口座の開設に関する事項
- 4 委任者名義の投資信託の管理・解約・売却
- 5 保険契約の締結、変更及び解除、保険金の請求及び受領に関する事項
- 6 自宅（福岡市博多区博多駅中央街1番地1家屋番号1番1の建物）に関するリフォーム・賃貸・売却による処分及び建物解体
- 7 不動産の売却、賃貸不動産の管理、賃貸借契約の締結、変更、解除
- 8 実印、銀行印、印鑑登録カード、その他の証書等の保管及びその使用に関する事項
- 9 年金・障害手当金等社会保障給付その他の定期的な収入の受領に関する事項
- 10 生活費の送金、日用品等の購入、郵便物の受領そ

の他日常生活に関する事項

- 11 公共料金、保険料、福祉関係施設利用料、福祉サービス費用、介護費用その他の定期的な費用の支払に関する事項
- 12 介護契約、その他の福祉サービス利用契約等の締結、変更、解除に関する事項
- 13 要介護認定の申請及び認定に対する承認又は審査請求に関する事項
- 14 福祉関係施設への入所契約（有料老人ホームの入居契約を含む。）の締結、変更及び解除に関する事項
- 15 福祉関係の措置（施設入所措置を含む。）、障害福祉サービスの申請等に関する事項
- 16 医療契約の締結、変更及び解除、病院への入院に関する契約の締結、変更及び解除並びに医療費等の支払に関する事項
- 17 住民票、戸籍謄本その他行政機関の発行する証明書の請求等に関する事項
- 18 登記、供託の申請、税金の申告・納付・還付請求・還付金の受領に関する事項
- 19 遺産分割協議、相続の承認・放棄、贈与の受諾又

は拒絶、遺贈・負担付遺贈の受諾又は拒絶に関する事項

- 20 裁判外の和解（示談）、仲裁契約、行政機関に対する不服申立て及びその手続の追行、司法書士に対する簡易裁判所における訴訟代理等関係業務の授権、弁護士に対する訴訟行為及び民事訴訟法第55条第2項の特別授権事項の授権に関する事項
- 21 上記各事項に関する復代理人の選任、事務代行者の指定に関する事項
- 22 上記各事項に附帯関連する一切の事項

以上